



徳山大学 校友会誌

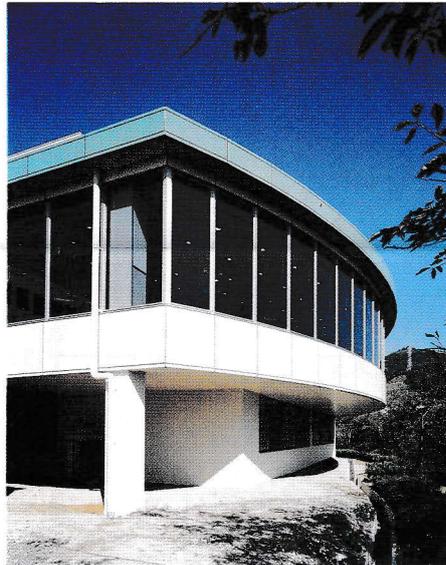
第15号

平成5年10月25日

発行所 徳山大学校友会
〒745 山口県徳山市久米
徳山大学内
TEL 0834 (28) 0411代
発行責任者 豊岡正行
編集発行人 中村道陽

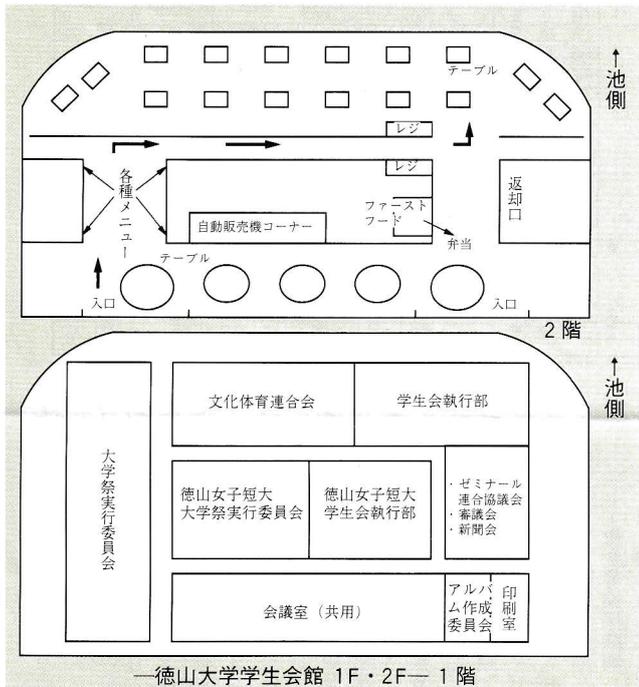


超モダン!! メニューも豊富な学生食堂



全面改装された学生会館 (4号館)

学生会館誕生 4号館改装される



学生食堂 外観はガラス張り

4号館といってもピンとこられる方は少ないかもしれないが、いわゆる学生食堂の建物の一階、二階と外装の改装が、九月に終了し、後期に入って大学は非常に活気づいている。

改装のポイントとして、光を多く取り入れられるような工夫が随所に見られ、それが明るい雰囲気、そして今までにない洗練された感じをもたらしている。学生食堂は全面改装されており、従来よりもため池側に増床され、山陽の緑の山々、そして春には見事な桜が、サンルームと見えてよい学食のレクビューから見ることができずはすである。席は三百席であるがその数よりは、ずいぶんゆとりとした感じがする。椅子がこゝろ状のため、人が座っていない時には、その向こうまで見え、ここにも光と空間を大切にしたい、ゆとりのセッティングが感じられる。メニューも数多く、セットものからカレー、パスタ類まで幅広い。是非この大変貌を遂げた学食にいらしていただきたい。

一階(地階)の部分は、以前部室のあったところであるが、今回学生団体用に、これまた、全くと言っていいほど様変わりした。学食を出て、すぐその一階に降りる階段のところは、三階まで吹き抜けになっており、本学学生と、女子学生の、青春のきらめきを感じるスペースである。

桜の咲く頃には、私たちにもっと大きな感動を呼び起こしてくれるであろう希望に満ちた学生会館に一度お立ち寄り下さい。

平成五年度評議員会報告

今年度定例評議員会は、六月二十六日十六時より徳山市内のホテルに於て評議員五十三名中三十八人の出席により開催された。

- 主な議事は次のとおり
- 一、平成四年度決算報告 表1
- 二、平成五年度活動方針
- 三、平成五年度予算案 表2
- 四、役員改選

活動方針 要約

十八才人口の激減時代を間近にひかえ、徳山大学においても四つの専門委員会の答申を受け、国際交流、キャンパス整備等、様々な施策の実施に向けて努力しているところ。また、学長問題も来春には新学長を迎える運びとなっています。我が徳山大学校友会は、大学との運命共同体としての自覚を持ち、このような大学の将来構想の実現に向けて、積極的な支援体制を確立していきたいと考えます。

校友会結成二十周年へ向けて、各部とも活発な活動を展開する中で、情宣部に於ては、記念名簿の作成にむけて平成六年九月の完成を目指します。事業部では、新規事業の「学生総合保障制度」の拡充、組織強化部においては、新支部の結成等組織の拡充に努力していきます。また、企画部においては、文化講演会の充実に加え、本年度より大学教授による文化セミナーを開催し、地域に開かれた大学として、徳山大学をアピールし地域と大学のパイプ役としての役割を担っていきたく考えます。

平成5年度役員(担当)

- 会長 豊岡 正行
- 副会長 国広 憲
- 幹事長 古谷 幸男
- 副幹事長 井上 基義
- 幹事 藤岡 正史
- 事務局長 角広 保幸
- 監査 志々田秀彦
- 箱崎 秀彰
- 磯村 泰将
- 原田 浩道
- 岡 浩治
- 通山 賢一
- 大西 清二
- 中村 道陽
- 井口 喜友
- 三嶋 隆史
- 米山 仲明
- 松宮 光

▽キーワード△

「評議員」

徳山大学校友会会則第十一条、第十二条に規定されている次の要件により選出された役員

- Ⅰ 地域より推薦された者
- Ⅱ 職域より推薦された者
- Ⅲ 地域(支部)より推薦された者
- Ⅳ クラブOB会より推薦された者
- Ⅴ 期別評議員、又は特に会に功労のあった者

評議員は、会員相互の連絡、規約の改正、幹事会より提案された予算、決算、事業計画等の審議を行うことを職務とされている。

表1 平成4年度 決算書

収入の部		項目	予算額	決算額	差額	備考
前期繰越金	415,589	前期繰越金	1,681,537	1,681,537	0	
会費	8,580,000	会費	9,480,000	8,190,000	1,290,000	
事業積立基金取崩	2,000,000	(19期学生会費)	(9,450,000)	(8,175,000)	(1,275,000)	①5,000×545
雑収入	304,411	(消徴会費)	(15,000)	(15,000)	0	第4期 平木善男
計	11,300,000	(推薦会費)	(15,000)	0	(15,000)	
		特別会計繰入金	0	0	0	
		雑収入	1,300,463	853,747	446,716	
		(雑収入)	(1,100,000)	(798,480)	(301,520)	※1.下記参照
		(受取利息)	(200,463)	(145,196)	0	
		事業積立基金取崩	0	0	0	
		計	12,462,000	10,725,284	1,736,716	

※1.コピー、Tシャツ、名簿、自動販売機売上(4月~3月分)

表2 平成5年度 予算案

収入の部		科目	予算額	項目	予算額	前年度比	備考
前期繰越金	415,589	前期繰越金	415,589	前期繰越金	△1,265,948		
会費	8,580,000	第20期学生会費	2,850,000	第20期学生会費	△300,000	②5,000×570	
事業積立基金取崩	2,000,000	19期学生会費	5,700,000	19期学生会費	△600,000	①10,000×570	
雑収入	304,411	追徴会費	15,000	追徴会費	0		
計	11,300,000	推薦会費	15,000	推薦会費	0		
		事業積立基金取崩	2,000,000	事業積立基金取崩	2,000,000		
		雑収入	200,000	雑収入	△900,000		
		受取利息	104,411	受取利息	△98,052		
		計	11,300,000	計	1,162,000		
支出の部		科目	予算額	項目	予算額	前年度比	備考
会議運営費	4,770,000	備品費	500,000	備品費	0		
		通信費	600,000	通信費	△150,000		
		委託手数料	450,000	委託手数料	50,000		機関紙発送費、切手
		事務費	10,000	事務費	0		
		渉外費	250,000	渉外費	50,000		コピーキット、他
		慶弔費	300,000	慶弔費	0		
		諸会費	50,000	諸会費	△50,000		
		交際費	10,000	交際費	9,000		
		旅費交通費	200,000	旅費交通費	0		
		記念品	700,000	記念品	△100,000		タクシー、旅費出張費
		人件費	750,000	人件費	△50,000		卒業記念品
		消耗品	1,100,000	消耗品	400,000		
		備金	1,500,000	備金	50,000		
		企画部費	150,000	企画部費	0		
部費	5,230,000	清償部費	1,130,000	清償部費	△800,000		文化講演会等の開催
基金	1,000,000	組織強化部費	2,900,000	組織強化部費	2,450,000		機関紙、厚紙代、20周年記念名簿
予備費	300,000	事業積立基金	1,200,000	事業積立基金	0		学生援助費、他
予備費	300,000	予備費	1,000,000	予備費	△3,000,000		
計	11,300,000	計	300,000	計	△21,000		

支出の部		科目	予算額	補正額	予算現額	支出済額	差
会議運営費	4,770,000	会務運営費	4,561,000	△1,456,716	3,104,283	3,072,276	32,008
		(備品費)	(50,000)	△50,000	0	0	0
		(通信費)	(750,000)	△250,000	(500,000)	(498,179)	(1,821)
		(委託手数料)	(400,000)	25,000	(425,000)	(422,889)	(2,111)
		(事務費)	(10,000)	0	(10,000)	(9,888)	(112)
		(渉外費)	(200,000)	35,000	(235,000)	(234,068)	(932)
		(慶弔費)	(300,000)	△190,000	(110,000)	(107,222)	(2,778)
		(諸会費)	(100,000)	△60,000	(40,000)	(32,040)	(7,960)
		(交際費)	(1,000)	0	(1,000)	0	1,000
		(旅費交通費)	(200,000)	△110,000	(90,000)	(90,000)	0
		(記念品)	(800,000)	△150,000	(650,000)	(643,970)	(6,030)
		(人件費)	(700,000)	70,000	(770,000)	(728,725)	(41,275)
		(消耗品)	(1,100,000)	△660,000	(440,000)	(37,000)	(3,000)
		(備金)	(150,000)	△41,716	(108,284)	(105,060)	(3,224)
部費	5,230,000	企画部費	3,580,000	△280,000	3,300,000	3,237,419	62,581
		(清償部費)	(1,930,000)	△230,000	(1,700,000)	(1,666,991)	(33,009)
		(組織強化部費)	(450,000)	△50,000	(400,000)	(378,518)	(21,482)
		(事業積立基金)	(1,200,000)	0	(1,200,000)	(1,191,910)	(8,090)
基金	1,000,000	基金	4,000,000	0	4,000,000	4,000,000	0
予備費	300,000	予備費	321,000	0	321,000	0	321,000
予備費	300,000	計	12,462,000	△1,736,716	10,725,284	10,309,695	415,589

支部だより

〜関東支部〜

関東支部では、平成五年九月六日に役員会を開催し、新役員を決定した。

一、役員選出について

- 支部長 廣瀬孝夫(六期)
- 副支部長 盛貞和見(六期)
- 幹事 飛田徳明(六期)
- 出口啓介(十三期)
- 日本電気コンピ
- ユータシステム
- 西村 圭(十九期)
- 総合警備保障
- 佐々田早苗(七期)
- 総合警備保障
- 山本啓三(四期)
- 日本貨物鉄道

〜山口県東部支部〜

山口県東部支部では、初の試みとして、ポプラ祭りへ模擬店を出店することとなりました。

ここ数年ポプラ祭り大学祭は、全国的な傾向にたがわず、学生ばかりの傾向が強くなり、本学においても、その存在意識さえ問われる段階まで来ていたと言えます。しかし、本年は、そんな鬱屈した思いが一蹴されるかのように、秋の空に晴れ晴れとした、学生の笑顔が思い浮かぶような盛り上がりつつある状態です。その企画については次頁にて後述するとして、そんなポプラ祭りに我々も一役買っただけです。

内容は、焼肉屋です。スタッフとしまして、チーフに、東京支部を代表する、ナイススタッフ、井口：さん(十六期卒)、そして校友会事務局の清水かずえさん(徳山女子短三期卒)という、フレッシュユ&タフネスのコンビで皆さんをお待ちしています。場所は、第一学食と第二学食の間の一等地、自動販売機、CDコーナーの前です。お近くの方、ご家族連れでいらして下さい。

ここにまた、新しい出逢いがきつと貴方を待っていることではしよう。

本会は徳山大学の正規の過程を卒業した者をもって構成する。なお会員は、現住所が関東地域(栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・神奈川・東京)にある者に限る。この地域の方は、関東支部長、もしくは、校友会事務局までご連絡いただき、支部活動に参加していただきたいと思います。

三、会費について

一定の会費は徴収せず、総会開催時に、寄付金を徴収する。

四、今後の活動について

まず、総会を開催してそれから

検討していく。

以上のようなことが、今回の話し合いで決まりました。

尚、関東支部については、左記までお問い合わせ下さい。

関東支部支部長

廣瀬 孝夫(六期)

〒107 港区元赤坂一丁目二一五

☎〇三三三〇一六八九



とてもいいですよ。だけどそういう体験を通して、人間はひとりひとり皆根本的に違うものなのだということを知ったんだと思うんです。

なかなか我々が想像する以上に厳しいものを感じます。船を降りられてからは、どういう時間を送られたのですか。

船を降りてひとつのことが終わったんだけど、もう次に何をしようかと考えていました。アメリカ大陸にわたってみようか、南極にでも行ってみようかという具合に、自分に問いかけては、ヨットでハワイへ行ったことよりも、自分にとってもっと大きな目標を設定しようと思えばかり考えていました。サラーマンになるとか、まして結婚なんて全く考えられなくて、そういう意味では放心状態でしたね。

「両親はようやくまともな生活をしてくれるだろうと思っておられたでしょうが、やはり冒険は次の冒険を呼ぶものなのです。」

そうですね。両親には悪いなという気持ちもありましたが、いわゆる有名な冒険家がこういうことをしたと本やTVで見ていたことを、無名な自分でもここまでできたんだから、もっと自分でも何かできるはずだと、次のテーマを見つけてみようという気持ちが大さくなりましたね。ヨットに乗っている間にも、次のアクションを見つけておきたけれど、何も浮かんでこなかったんです。それでしばらくの間は、アルバイトをしていて、ある日新聞の求人欄に、アメリカかヨーロッパが勤務先という会社を見つけて、これだと思って、履歴書とこれは特に書いてなかったんですが、自分の熱意のようなものを手紙にして面接に行きました。

海外での暮らしというものが、次のテーマだったんですか。

一概に海外での暮らしというのと、何だか平凡だけど、実際にハワイに2か月位いて、これはおもしろいと思ったんです。すべてオーナー持ちの暮らしで、2か月間ヨットに乗ることが仕事で、後は全く自由生活、自分の気持ちに屈することのない、足かせのない生活、ゆったりとした時間を送ったんですが、それが自分にはとても合っていたし、そういう生活をまたしてみたいかなって思いました。

そのためには、また海外でということも守田さんの必須事項だったんです。

そうですね。日本人なんだという自覚を持ちながらも、日本社会というより、外国の社会の中で自分を試してみたいかなって思っています。自分は何をしたいのかを持ちながら、人の和の中に入っていく



というか、それが外国ならできるといふか、それがそこにあると思っただけです。

履歴書と一緒に手紙を持って行き、その熱意が通じて採用され、そしてアメリカへ渡られて、3年間シカゴ・ニューヨークで過ごされる。帰国後は、アメリカでの実績を買われて本社採用となり、北朝鮮・ロシア・ベトナムなど、一般的には余り立ち寄ることのない国まで出張され、30歳の時、結婚を機に、山口へ帰ってこられた。

V ラッキーマンライフ

こうして守田さんのお話を伺ってまいりますと、本当に人がまねることのできない一時期を送ってこられたと思います。

まあこれが自分の生きざまですから、それはそれとして過去の産物にすぎないという面もあると思います。だから、これからの自分の生き方の方が大切だと思っています。ただ僕は、ラッキーマンだったなと思っています。自分はアンラッキーマンと思ったところから

負けだ、たとえば、出世しようと思う人は、思い続けることが大切でそうするといつかは成就すると思うし、自分の思い込みというものがあるの目標の前に壁があったとしても、思いが壁を突き抜けていったように思います。

それでは、最後に守田さんの熱い言葉でメッセージを送って頂きたいのですが。

まあそんな大した人間ではないということ。ごく普通の男で、機会があったら話しかけて来て下さい。ただ僕の思っていたのは、常に自分が今何をしたいのかはつきりさせていたということ。好きなことを今でもやって人に会おうと、負けたかな、いわゆる自分も一般的なマジョリテイの中に入っていくか入って来ているなと思うことはあります。しかし、自分がそういう人に会おうと、心がおどるんです。だからあれはもう卒業したと軽く口にしたくないですね。自分が納得してやめていくのと、自分の心をごまかしながらやめていく卒業は、全く違うと思っています。自分自身の歴史を自分で創っていくこと、Making history、自分自身の納得のいく歴史をつくっていくことが大切と思っています。

守田さんの熱いメッセージは、四時間にわたり続いた。私はこの人の一貫した生き方に感動を受けずにいられなかった。頭で考えるのではなく足で動く、実行の人それが守田文男さんだったように思えます。

このコーナーの皆さんの感想をお待ちしています。

新学長に 浅野氏決まる

大学再建へ向けて「大きな期待」



浅野一郎 新学長

新聞報道により、すでにご承知のとおり五月二十一日の理事会で、新学長に関東学園大学教授の浅野一郎氏(67)が決まった。来月四月一日に就任すること、九月五月に村田憲太郎・前学長が解任されて以来続いている学長選任問題は、決着を迎えた。

本学では、八八年に理事会が村田前学長を選出したが、教授会が学長選挙をめぐって混乱、学長不信任決議、教授の謹慎処分などが相次いだ。理事会は教授会内部の混乱を理由に、九二年十二月まで任期があった村田前学長を解任、三好啓治理事長が学長を代行してきた。

昨年十二月、教授らによる学長候補審議選考委員会が発足、候補者選びが本格化した。理事会は浅野氏他県内出身の国立大学学長経験者ら数人へ打診の結果、四月末に浅野氏を選考委員に諮問した。選考委員も浅野氏を答申、理事会で正式に決定した。

現在、本学では教育環境の整備、充実が進んでおり、学生食堂などがある四号館を学生会館に改修し、新グラウンド(二万六千七百平方メートル)の造成工事も完成した。

また、地域に開かれた大学にするため、一般聴講生の募集、六月からは文化振興財団との共催で、市民を対象に文化セミナーも開催した。また、六年度の推薦入学ではスポーツ推薦や、文化活動の実績といった「一芸」を重視するなどの活性化にも取り組んできた。カリキュラム委員会の設置、講義内容の見直しや充実を検討しており、教室の拡充や研究施設を含む新校舎建設などの本格的な改革、施設の整備が新学長就任後に期待される。

三好理事長は「新学長は八八年から二年間短大の教授として在籍、総合経済研究所の所長も務められ、大学の内情も良く知っておられるし、教職員の間も厚い。行政経験があり、中央で活躍した人なのでそれを生かして徳山の活力を維持し、さらに発展させてほしい」と期待している。

浅野氏は、一九二六年一月生まれ、京都大学法学部卒。参議院法制局長などを務め、八八年・九〇年は姉妹校の徳山女子短大に在籍。後年の一年間は総合経済研究所長。九〇年四月から現職。

